

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	財政課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(7) 安定的な財政基盤の確立		実施計画事業	1) 財政管理事業 (No.81)				
予算等事業名	財政管理事務経費 (公会計システム)							
目的	これまで整備を進めてきた、「固定資産台帳 (公会計管理台帳)」と、決算年度の会計データを発生主義に基づき複式的に自動仕訳を行う「公会計システム」を連携し、「基準モデル」を用いた、財務諸表を作成する。また、従来の手法では見えなかった財務情報が、より精緻な財政の全体像として明らかとなり、今後の行政運営に活用することが可能となる。							
内容	地方債を除く財政関係事務全般							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価 (10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない (休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	平成26年3月20日に平成24年度の連結財務4表が納品された。				
中間評価との相違点	—				
事業指標 (数値指標)	財務諸表の作成・納品				
前期 (27年度) 目標値	1回			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	—	
	1回	1回	1回		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,612	1,588				
財源内訳	一般財源	1,612	1,588				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 精度の高い諸表を作成するためには、システムや作成委託が必要であるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の資産や会計データを使用して作成するため、町が主体となって実施しなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 平成23年度分から基準モデルでの公表を開始したばかりであり、2年目となる今年度も公表などを行い啓発に努めたい。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 職員でできることは、委託に頼らず職員が行い、経費を節減している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 財務諸表は毎年作成・公表していくものなので、途中で業者等が変わると、年度の比較がしづらくなるなど弊害が出る恐れがある。報告結果及び委託業者にも問題がないので、しばらくは現状維持のまま実施していきたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	・業者との打ち合わせ回数を増やすことで、進捗状況や問題点を確認していきたい	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	極めて専門性が強い業務であり、現状で財務諸表を包括的に理解している職員はいないと 言っても過言ではない状況である。このことから、常に職員の異動というリスクを抱えて業務 を遂行するより、アウトソーシングにより安定的に事務を進めるべきである。		
今後の方向性	現在、国による財務諸表の基準見直しが行われており、当町もこれに合わせなくてはならな いこととなるので、当面は、現状維持としたい。		